

専門書  
教育関係者、  
行政・武術研  
究者向け

講道館

# 格闘武術・柔術柔道書集成

民和文庫研究会編

企画・編集責任者 中村民雄（福島大学名誉教授）  
石井隆憲（日本体育大学教授）

## 第Ⅰ回

# 明治期の逮捕術・柔術柔道書 全六巻

明治維新後、治安維持の担い手は武士から警察組織に委ねられた。それに伴い、江戸時代の捕手・捕縄や、武士の行っていた各種体術・古武術などが整理され、次第に現代のスポーツとなる柔術・柔道が確立されていき、あるいは警察の逮捕術に発展していった。

このシリーズ第Ⅰ回配本では、このうち明治期に絞り、逮捕術・柔術柔道書の貴重な資料をテーマ別にまとめ提供する。



明治期の逮捕術・柔術柔道書(全六巻)の刊行について

民和文庫研究会代表(福島大学名誉教授) 中村 民雄

江戸時代から伝わる日本の武術の内、今日まで伝承されている武術を大別すると、武器を持たず素手で闘う体術系の「格闘武術」、武器となる得物(剣や槍)を持って闘う「撃突武術」、手裏剣など手で物を投げつけて敵を倒す「投擲武術」、弓・鉄砲などを用いて敵を撃つ「射撃武術」がある。それらの中でも、体術系の「格闘武術」はこれまでまとまって復刻版が出されていないので、今回、明治・大正・昭和(戦前)の三回に分けて集大成を行った。

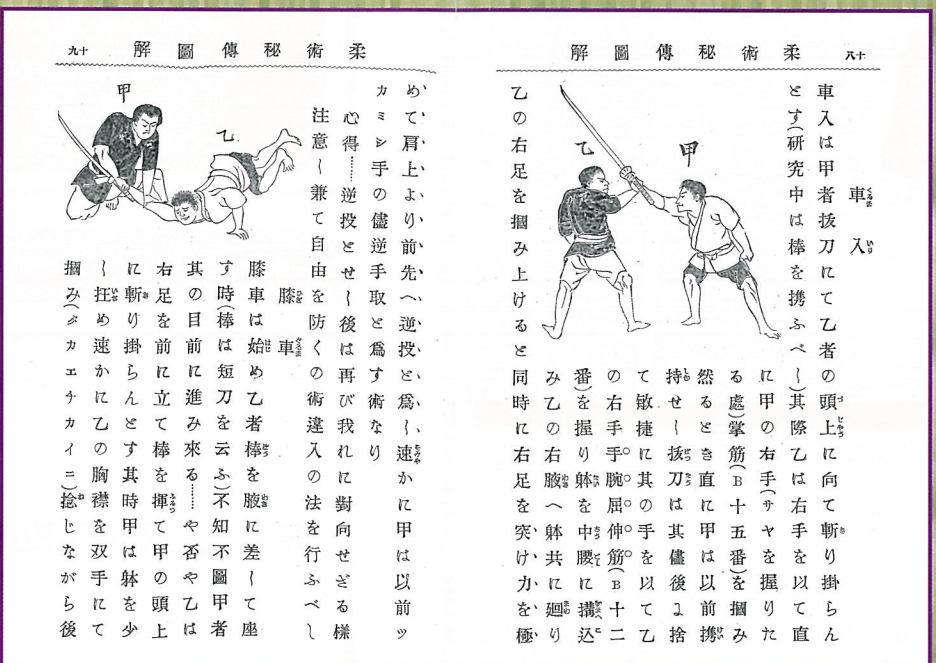
第I回「明治期の逮捕術・柔術柔道書(全六巻)」は、近代警察制度の成立とともに警察官の護身・逮捕術として、まず捕縄や捕手を専門とする柔術流派が注目され、「逮捕術」として独自の地歩を固めていく。明治という草創期においては、江戸時代からの捕り物の三道具(袖がらみ、突く棒、刺股)を使って犯人を生きたまま逮捕し、捕り縄で縛り、護送するため逮捕術は必須の術であった。今日でも警察官の訓練種目として逮捕術は行われており、腰縄や刺股など、警察官の必須装備として見ることが出来る。

このように「格闘武術」の中から逮捕術や活法はいち早く独自の地歩を固めていった。これに対し、東京大学を卒業した嘉納治五郎が明治十五(一八八二)年に講道館柔道を立ち上げ、明治二十二(一八八九)年には、これまでの柔術との違いを「柔道一班並に其教育上ノ価値」と題して大日本教育会の席で講演をし、新基軸を打ち立てた。嘉納は、ハーバート・スペンサーの代表的な著書「教育論」に示された知育・徳育・体育(これを三育主義という)から大きく影響され、講道館柔道の目的を勝負法・体育法・修心法から説明し、力学の原理に基づいた柔道を実演してみせた。講道館柔道は、明治二十八(一八八二)年には四十一本からなる「五教の技」を体系化し、明治三十三(一九〇〇)年には講道館柔道乱捕試合審判規定を制定、試合稽古中心の新しい指導法を確立する。こうして明治二十年代から三十年代にかけて学校や警察、海軍等国の中枢部に広く浸透した。さらに、明治四十二(一九〇九)年五月のIOC(国際オリンピック委員会)総会で嘉納はアジア初のIOC委員に就任し、スポーツ界と講道館柔道を中心とした日本の武道との相互交流を活発化させていった。

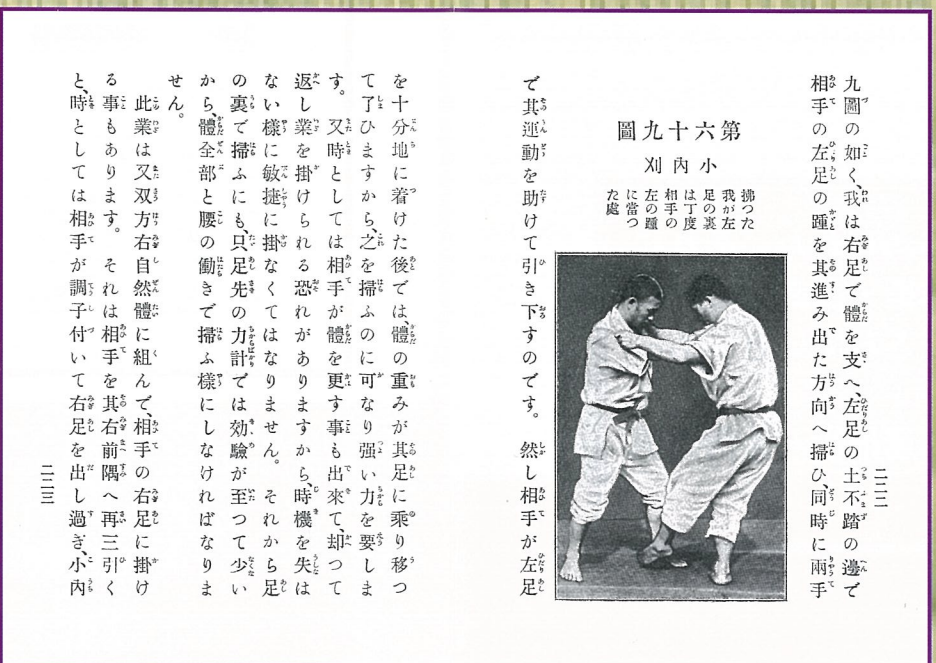
こうした動きに対し、柔術諸流派は生き残りをかけて講道館柔道に同調し、自派独自の技を形として再構成して存続をはかり、公開演武を行っていた。こうした動きは、明治二十八(一八八九)年に設立された大日本武徳会の催す大演武会が受け皿となったが、流派の壁を越えて統合されることはなく、保存武術として命脈を保っていた。



第一巻「拳法図解」より逮捕術



第二巻「柔術秘伝図解」より車入



第五巻「柔道教範」より小内刈

【第一巻】逮捕術・当身活法

拳法図解 完

- 久富鐵太郎／一八八八年／須原鐵二
- 早瀬活法 拳法教範図解 全
- 井口松之助／一八九八年／自刊
- 柔術死活便覧
- 宮内 清／一八九〇年／自刊
- 柔術秘伝活法・一名死人蘇生術 附録 当身の法
- 松本美乃／一八九二年／清明堂
- 日本 柔術活法詳解 全
- 守永兵治／一八九四年／自刊
- 柔術当身活之法
- 藤村金次郎／一八九五年／梅松堂
- 死活自在接骨療法 柔術生理書
- 井口松之助／一八九六年／魁真楼
- 活術図解全書 全
- 山本雄太郎／一九〇〇年／田中和之助
- 簡易柔術 実用形・附活法銃丸除
- 山本柳道齋源正道／一九〇七年／藤谷崇文館

【第二巻】古流柔術(1)

柔術剣棒図解秘訣

- 井口松之助／一八八七年／魁真楼
- 天神真楊流 柔術極意教授図解
- 吉田千春・磯 又右衛門／一八九三年／聚栄堂
- 起倒雄心 柔術秘伝図解
- 横野鎮次／一八九四年／尚武館
- 柔術極秘真伝
- 久松時之介／一八九九年／富田文陽堂
- 極秘皆伝 柔術早指南
- 久松定基／一九〇〇年／柏原圭文堂

【第三巻】古流柔術(2)

極意詳解 関口流柔術自在・附 女子柔道の手引

- 日詰忠明／一九〇九年／大学館
- 柔術独習書 全
- 古木源之助／一九一一年／制剛堂
- 柔術講義 全
- 岩瀬重周／一八九六年／松田藏吉

【第四巻】講道館柔道(1)

柔 道

- 内田良平／一九〇三年／黒龍会出版部
- 柔道大意
- 有馬純臣／一九〇五年／岡崎屋書店
- 通俗 柔道図解
- 有馬純臣／一九〇五年／岡崎屋書店

【第五巻】講道館柔道(2)

柔道の真髓

- 鈴木安一／一九〇八年／有朋館
- 柔道教範
- 横山作次郎・大島英助／一九〇八年／紅葉堂
- 柔道手引草
- 磯貝 一／一九〇九年／武徳会誌発売所

【第六巻】講道館館員名簿

- 講道館館員名簿・第一
- 講道館(一九一〇年入門分まで)



第Ⅰ回 明治期の逮捕術・柔術柔道書全六巻

尾川 翔大 解説

- 第一巻 逮捕術・当身活法  
定価 21,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-037-3
- 第二巻 古流柔術(1)  
定価 20,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-038-0
- 第三巻 古流柔術(2)  
定価 14,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-039-7
- 第四巻 講道館柔道(1)  
定価 20,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-040-3
- 第五巻 講道館柔道(2)  
定価 19,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-041-0
- 第六巻 講道館館員名簿  
定価 11,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-042-7
- 揃定価 105,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-043-4

.....  
A5 判 / 上製函入 / クロス装 / C3337

第Ⅰ回 2019年5月25日刊行

第Ⅱ回 2019年10月25日刊行

第Ⅱ回 大正期の護身術・柔術柔道書 全七巻

尾川 翔大・小山 凜雄 解説

- 第一巻 護身・逮捕術  
定価 15,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-044-1
- 第二巻 女子護身術  
定価 12,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-045-8
- 第三巻 古流柔術  
定価 18,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-046-5
- 第四巻 講道館柔道(1)  
定価 16,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-047-2
- 第五巻 講道館柔道(2)  
定価 26,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-048-9
- 第六巻 講道館柔道(3)  
定価 18,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-049-6
- 第七巻 講道館柔道(4)  
定価 19,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-050-2
- 揃定価 124,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-051-9

体育・スポーツ書集成 好評既刊書 (分売あり / A5 判 / 上製函入 / クロス装)

第Ⅰ回 戦後保健体育指導書 全七巻

尾川 翔大 解説 2017年6月25日刊行  
揃定価 93,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-983-8

第Ⅱ回 戦後学校武道指導書 全五巻

矢野 裕介・坂本 太一 解説 2017年11月25日刊行  
揃定価 66,500 円 (税別) ISBN 978-4-87733-989-0

第Ⅲ回 国民体力向上関係書 全八巻

尾川 翔大・矢野 裕介 解説 2018年5月25日刊行  
揃定価 108,800 円 (税別) ISBN 978-4-86670-020-5


第Ⅳ回 明治期体操学校 体育・体操書 全六巻

神田 俊平 解説 2018年11月25日刊行  
揃定価 96,000 円 (税別) ISBN 978-4-86670-027-4



〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎(03)3808-1821 ㊚(03)3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名

 株式会社クレス出版